

私のこころの耳に
誰かの「死にたい」が聞こえた。
どうにかしたい。
けれど…

「どうしたらいいのかわからなかった。」

「死にたい」も「支える」も特別なことじゃない。

言えないでいる誰かの「死にたい」が、もしも、あなたのこころの耳に届いたとき
どのように聞いたら良いか、聞いたらどうするのか…

誰かの「死にたい」を支えるための

方法とこころの準備が万全な方はどのくらいいるでしょう。

毎年3月は自殺対策強化月間、市立小諸図書館は今年も特集企画を行います。

さらに今回は小諸市健康づくり課の特別講演を当館で行います。

誰かの「死にたい」に気づき支えることができるように、お手伝いをさせてください。

あなたが支えることのできる「死にたい」の一瞬は少なくないと思います。

それは、「死にたい」も「支える」も、どちらも特別なことではないからです。

あなたの声が、言葉が、しぐさが、誰かの「死にたい」を思いとどまらせるかもしれない。

あなたの今朝の「おはよう」が、誰かの「死にたい」を救っているかもしれない。

毎日のほんの些細なことが、一瞬でも誰かの支えになれる。

生きていきたい社会って、もしかしたら、そういうことなのかもしれません。

2017年3月1日～3月31日 こころとからだのひろば

企画展示：『大切な誰かを、“気づき”で支える。』

3月25日 14:00～14:40 市立小諸図書館内 ひだまりのひろばにて

特別講演：コミュニケーションのととり方『ほっとする聴き方って？』

講師：ワークポート野岸の丘 精神保健福祉士 新津 薫 さん